

2023年度事業計画書案

自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月31日

目 次

1. 基本方針	1
2. 定時総会、理事会の開催に関する事業	1
1) 2023年度定時総会の開催	1
2) 理事会の開催	1
3. 委員会の開催に関する事業	2
1) JAPAN PACK 2023 実行委員会	2
2) 包装学校企画運営委員会	4
3) 広報推進委員会	5
4) 技術委員会	6
5) ISO/TC313国内審議委員会	6
6) IOT WG	7
4. 会員等諸会合の開催	7
1) 歳末特別講演会の開催	7
2) 新年賀詞交歓会の開催	8
3) 支部役員会・支部会の開催	8
5. 調査、各種情報収集・提供等に関する事業	8
1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査	8
2) 技術情報の収集・提供等	8
3) 各種情報の発信等	9
6. 人材育成、セミナー、講習会に関する事業	9
1) 包装学校	9
2) 青年部会	9
3) 各種セミナー・講習会	10
7. 国の施策に関する事業	11
1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業	11
2) 国税関連の制度改正に伴う対応	11
8. その他関連事業	11
1) 包装機械会館の運営に関する事業	11
2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業	11
3) 福利厚生に関する事業	11
4) 関連産業との連携	11

1. 基本方針

2022年度は、コロナ禍から徐々に経済活動が正常化に向かう中、資源、エネルギー価格の高騰をはじめ、サプライチェーンが混乱し、厳しい環境であったが、生産高は横ばいとなった。経済産業省発表の生産動態統計（確報値）によると、1-12月は金額ベースで対前年比0.5%減となったものの、輸出は財務省発表の貿易統計（速報値）によれば、2022年度は対前年度比9.9%増となる見込み。

2023年度はポストコロナ時代として、経済が本格的に動き出す一方で、依然続く資源・食料・エネルギー価格の高騰と、欧米をはじめ各国の利上げによる経済減速懸念がぬぐえない中で、厳しい状況となっているが、引き続き、人材不足と人件費の高騰により、製造現場の自動化ニーズが継続していることから、包装機械業界にとっては追い風と見ている。またジャパンパック開催年であることから本展示会では、包装の新しい価値を提供し、課題解決の場となるよう努めたい。

当会としては、包装機械および関連業界の情報収集をはじめ、国・自治体の企業支援のための様々な施策等、会員企業に対し情報提供を行い、当会の事業活動がより活発になるよう、発展に努めてまいります。引き続き、会員各位の一層のご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

2. 定時総会、理事会の開催に関する事業

定款に基づく定時総会・理事会の開催、当会内規に基づく支部役員会・支部会の開催をはじめ各事業委員会等を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努める。

1) 2023年度定時総会の開催

定款の規程に基づき、2023年度定時総会を開催し、2022年度事業報告の審議・承認ならびに理事・監事の役員候補者の承認（本年度は退任に伴う補充のみ）、2023年度事業計画案・収支予算案の報告を行う。

月 日：2023年 5月25日（木）

会 場：鉄鋼会館 701号室（東京都中央区）

2) 理事会の開催

定款の規程に基づき、2023年5月、9月、11月、2024年3月の計4回理事会を開催し、2023年度の役員体制、事業の進捗状況、役員の業務執行状況等の確認・審議・承認を行い、事業の円滑な推進に努める。

※第362回理事会

月 日：2023年 5月25日（木）

会 場：鉄鋼会館 704号室（東京都中央区）

※第363回理事会

月 日：2023年 9月 5日（火）

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

※第364回理事会

月 日：2023年11月29日（水）

会 場：（愛知県名古屋市）

※第365回理事会

時 期：2024年 3月

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

3. 委員会の開催に関する事業

JAPAN PACK 2023実行委員会、包装学校企画運営委員会、広報推進委員会、技術委員会、青年部会等の委員会を逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努める。

1) JAPAN PACK 2023 実行委員会

JAPAN PACK 2023 実行委員会（委員長：古川 雅章 氏 株式会社古川製作所 社長）は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機械、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化および国民生活向上への寄与、貿易の振興、ひいては包装機械業界ならびに関係業界の発展を目的として本年10月に「JAPAN PACK 2023 日本包装産業展」を開催するため各種委員会活動を推進する。

第34回を迎える「JAPAN PACK 2023 日本包装産業展」は、2023年10月3日（火）から同月6日（金）までの4日間、2017年開催展以来3回展ぶりに東京ビッグサイト東展示棟2～6ホールで開催の運び。『未来への包程式・当たり前のその先へ』をテーマとして、約400社・団体の出展者より包装機械・資材を軸として生産ラインに係る様々な新機種・新提案が会場内において一堂に会し、持続可能な社会への対応、生産現場の自動化・効率化、安全安心の実現、市場の拡大等の様々な喫緊課題に対する解決策を『包程式』として発信することにより、製造・流通・小売分野へ向けて商品力向上や販売力促進等に寄与するとともに、本展参画者に対してビジネス拡大の機会創出を目指す。

「自動化」ならびに「環境」をキーワードとした特別展示や特別講演会・専門セミナーをはじめ多彩な主催者企画や他団体等とのコラボレーション企画の併催により、関係業界におけるトレンドをクローズアップし、会期中の活発な商談を企図。さらに、積極的な広報活動による来場誘致の推進はもとより、公式ウェブサイト内にオンラインコンテンツを搭載した「WEBブース」を全出展者に用意し、見込み顧客へ向けた会期前からの事前アプローチも支援する。来場者数は会期4日間で40,000人を目論む。

※第9回正副実行委員長会議

月 日：2023年 4月11日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：出展申込状況、各種併催行事・企画案、会場計画・小間割案、
各種活動計画案について討議

※第3回実行委員会

月 日：2023年 4月11日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：小間割案の承認、および出展申込状況、各種併催行事・企画案、
会場計画案、各種活動計画案について討議

※出展者説明会（東京会場）

月 日：2023年 5月16日（火）

会 場：秋葉原UDX（東京都千代田区）

内 容：主催者挨拶、および今回の魅力と特徴、開催要旨、
出展マニュアルについて説明、質疑応答

※出展者説明会（大阪会場）

月 日：2023年 5月17日（水）

会 場：梅田スカイビル会議室（大阪府大阪市）

内 容：主催者挨拶、および今回の魅力と特徴、開催要旨、
出展マニュアルについて説明、質疑応答

※第10回正副実行委員長会議

月 日：2023年 7月19日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：各種併催行事・企画案、来場誘致計画案の推進等について討議

※第4回実行委員会

月 日：2023年 7月19日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：各種併催行事・企画案、来場誘致計画案の推進等について討議

※実施概要記者発表会

月 日：2023年 8月23日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：主催者挨拶、開催概要および出展製品傾向・特徴説明、質疑応答

※第11回正副実行委員長会議

月 日：2023年 9月11日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：全体計画案の確認等

※第5回実行委員会

月 日：2023年 9月11日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：全体計画案の確認等

※JAPAN PACK 2023 日本包装産業展

月 日：2023年10月 3日（火）～ 6日（金）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

内 容：主な行事計画として以下の通り

1) 開会式

※10月 3日（火）09：40～10：00（予定）

2) オープニングレセプション

※10月 3日（火）17：30～19：00（予定）

3) 特別講演会、専門セミナー、パネルディスカッション等

4) 各種出展者プレゼンテーション

【自動化・環境ソリューション企画】

5) 自動化・環境スタートアップ&アカデミックエリア

- 6) 自動化・環境ソリューションコーナー
 - ①自動化・環境ソリューションパネル展示
 - ②生産ラインソリューション動画展示
- 7) 自動化・環境ソリューションツアー（会場巡回ツアー）
- 8) 包装ライフサイクルコーナー

【関連業界コラボレーション企画】

- 9) MOBAC SHOWパビリオン
- 10) CLOMAパビリオン

【関連委員会タイアップ企画】

- 11) JAPAN PACK AWARDS 2023
- 12) 包装相談コーナー
- 13) 学生向け会場巡回ツアー、業界ガイダンス、就活サポートコーナー

※第6回実行委員会

月 日：2023年11月（予定）

会 場：（未定）

内 容：各種開催結果報告、総括討議

※上記の他、公式サイト開設、開催案内頒布、メールマガジン発信、国内外関連展示会におけるプロモーション、各種パブリシティ推進等の来場誘致をはじめ、各種活動を適宜推進

2) 包装学校企画運営委員会

包装学校企画運営委員会（委員長：一岡 幹朗氏 大森機械工業株式会社 取締役管理本部長）は、包装機械メーカーの技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象に、本年7月から開講の第50期包装学校の運営ならびに来期包装学校の開講準備にあたり、活動を計画・推進する。

※第115回包装学校企画運営委員会

月 日：2023年 5月29日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※第50期開講式・オリエンテーション

月 日：2023年 6月21日（水）

会 場：東京機械振興会館（東京都港区）

月 日：2023年 6月30日（金）

会 場：大阪商工会議所（大阪府大阪市）

※第112回包装学校企画運営委員会

時 期：2023年11月（予定）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※第113回包装学校企画運営委員会

時 期：2024年 1月（予定）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※第49期ディスカッション・修了式

月 日：2024年 3月 7日（木）
会 場：未定
月 日：2024年 3月14日（木）
会 場：大阪商工会議所（大阪府大阪市）

3) 広報推進委員会

広報推進委員会（委員長：下島 敏章 氏 ストラパック株式会社 社長）は、関連業界等と連携強化を図りながら以下の委員会活動を推進し、国内外に向けてジャパンブランドを広くアピールすることにより、当工業会ならびに会員企業ひいては関連業界各位の価値向上に寄与する。

※ i n t e r p a c k 2 0 2 3 視察団

月 日：2023年 5月 6日（土）～12日（金）
会 場：デュッセルドルフ見本市会場（ドイツ・デュッセルドルフ）

※第26回広報推進委員会

月 日：2023年 5月30日（火）
会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン
内 容：2023年度事業計画案の審議

※ P r o P a k A s i a 2 0 2 3 日本パビリオン

月 日：2023年 6月14日（水）～17日（土）4日間
会 場：BITEC（タイ・バンコク）

出展者：株式会社旭金属、株式会社エー・アンド・デイ、
ENEOS Materials Trading Bangkok
Co., Ltd.、大森機械工業株式会社、サイエナジー株式会社、
澁谷工業株式会社、城南自動機株式会社／株式会社横浜自働機、
株式会社ソディック、株式会社第一包装機製作所、
株式会社東京自働機械製作所、トキワ工業株式会社、
株式会社トパック、ニッカ電測株式会社、株式会社ニッサンキコー、
日本ポリスター株式会社、株式会社古川製作所、
株式会社三橋製作所、株式会社ミューチュアル、株式会社メイワ
Yamato Scale (Thailand) Co., Ltd.、
レオン自動機株式会社、一般社団法人日本包装機械工業会
（以上、23社・団体、576㎡／約64小間）

※日包工セミナー「包装のライフサイクルについて」（仮題）

月 日：2023年 6月20日（火）
会 場：オンライン
講 師：柴田 あゆみ 氏 大日本印刷株式会社 Lifeデザイン事業部
IPCビジネスデザイン本部 環境ビジネス推進部 第1グループ
リーダー

※日包工セミナー「欧州における最新の包装事情について」（仮題）

月 日：2023年 8月 1日（火）
会 場：オンライン
講 師：松田 修成 氏

株式会社東洋紡パッケージング・プラン・サービス
シニアアドバイザー

※JAPAN PACK 2023連携企画 業界トレンド発信

月 日：2023年10月（予定）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

※JAPAN PACK 2023連携企画 包装業界見学ツアー

月 日：2023年10月（予定）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

※JAPAN PACK 2023連携企画 就活サポートコーナー

月 日：2023年10月 3日（火）～6日（金）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

※ウェブ版機関誌「パッケージ&マシン通信」の刷新・発行（原則月2回）

※ユーザー業界（団体）との交流事業の推進

※講演会・セミナー、工場見学会、人材採用に係る産学連携企画の適宜開催

4) 技術委員会

業界における技術面での問題や将来的な課題を見出し、検討を具体化して会員への情報発信に繋げる

(1) 【自動化系】と【包材系】2テーマにおける取組

包装・生産現場に関わる最新自動化情報収集のための工場訪問及び意見交換
包装に関わる素材の最新情報収集及び意見交換・セミナー等開催

(2) ISO国際規格への対応

包装機械の「ISO国内審議委員会」の運営を継続・充実させる

(3) IOT WGのサポート

包装機械の標準化仕様の基準となる IOT 活用指針のまとめ、及び、会員企業
やユーザー等に周知を行う WG に対して支援する

(4) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告
マーク」和文のみを広く包装機械・関連機器メーカーへの頒布を継続する。

※デンソーウェーブ工場見学

月 日：2023年 7月 13日（木）

場 所：愛知県知多郡

5) ISO/TC313国内審議委員会

包装機械におけるEN415規格のISO化(ISO/TC313)に伴って、
ISO国際会議への参加を含み、平成29年度に発足した「ISO国内審議委員
会」の運営を継続・充実させる。新ISO規格を基にしたJIS規格の着手を計
画する。

※ISO国内審議委員会は、2回/年を予定

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2023年7月5日（水）、11日（火）、12日（水）、25日（火）

会 場：オンライン会議

※ISO/TC313国際会議

月 日：2023年11月 8日（水）

会 場：イタリア ミラノ

6) IOT WG

包装機械類標準仕様の検討となる IOT 導入・活用の「指針」をまとめ、周知することにより包装機械業会及びユーザー業界双方の生産性向上に寄与する

(1) 標準化指針の作成

包装機械における IOT 活用のベースになるフォーマットを作成する

(2) 標準化指針の周知

広く国内メーカー及び関連団体に周知していく

JapanPack2023 において関連ユーザー等からの情報収集を行う

(3) 標準化指針の修正・補強

各メーカー及びユーザー意見の反映を基に、指針の修正・補強していく

今後の普及対応の提案及び、適宜見直しの体制整備を行う

※第9回ミーティング

月 日：2023年 4月27日（木）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※味の素食品 意見交換

月 日：2023年 4月27日（木）

会 場：味の素食品 川崎

※技術委員会会員企業 説明会

月 日：2023年 5月30日（火）

会 場：オンライン

※第10回ミーティング

月 日：2023年 6月6日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

※デンソーウェーブ工場見学

月 日：2023年 7月 13日（木）

場 所：愛知県知多郡

※JapanPack パネルディスカッション

時 期：2023年10月 5日（木）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

4. 会員等諸会合の開催

定款に基づき歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部会を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努める。

1) 歳末特別講演会の開催

2023年11月29日（水）に歳末特別講演会を開催し、会員間の情報交換を推進する。

月 日：2023年11月29日（水）

会 場：（愛知県名古屋市）

2) 新年賀詞交歓会の開催

2024年1月10日(水)に関係官公庁、当会会員、金融、関係団体の方々をお招きして、株式会社日本包装リース合同主催の2023年新年賀詞交歓会を開催する。

月 日：2024年 1月10日(水)
会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

3) 支部役員会・支部会の開催

2023年度事業報告ならびに2024年度事業計画の報告ならびに会員企業からの意見・要望の聴取を目的として東日本支部会、西日本支部会を開催する

5. 調査、各種情報収集・提供等に関する事業

国内外の包装機械・関連機器に関する技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、広く一般に公開してわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進する

1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカーを調査対象として、2022年度の生産高と輸出入高ならびに2023年度の生産計画の調査を実施する。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開する。

2) 技術情報の収集・提供等

(1) 技術センター事業

技術委員会で工業会における技術事業のあり方を検討し、技術センターの事業方針を決定する。そして技術委員会で決定した事業に取り組む。

また、従来検査センターの事業として行ってきた、包装機械および関連機器の安全性・衛生性高度化の周知・啓蒙を推進し、労働災害事故の発生を抑えることによってユーザー業界からの信頼性を高め、包装機械産業の発展に貢献することを継続する。

(2) 包装技術相談と引き合いの斡旋

国内外のユーザーからの包装機械・関連機器等に関する各種技術相談を受け付け、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進と関係資料の配布に努める。

(3) 機械安全・衛生指導事業

①CEマーキング、リスクアセスメント、「包装・荷造機械の安全基準－2013」等、安全／衛生の技術相談に対応する。

②包装機械が、「包装・荷造機械の安全基準－2013」・「包装・荷造機械の衛生基準－2018」に適合しているかの相談業務を行う。

(4) 「包装・荷造機械の衛生基準－2018」の普及、啓蒙、指導

2017年度に当会の自主基準である「包装・荷造機械の衛生基準－2018」を制定し、会員企業を中心にユーザー業界等に配布したが、本年度は昨年度に引き続き、本基準がわが国の包装機械製作の際の基準であることの普及、啓蒙ならびに指導に努める。

(5) 各種資料・情報の収集・公開

国内外の包装機械関連の技術情報、規格および統計資料等の収集を行い、会員企業をはじめ広く一般に公開する。

3) 各種情報の発信等

(1) 機関媒体の発行に関する事業

WEB版機関誌「パッケージ&マシン通信」(A4サイズ・購読料無料)を毎月2回メール配信し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計(経済産業省)、貿易統計(財務省)等情報の包装機械業界およびユーザー業界へ周知・広報により、包装業界と需要業界を結ぶ橋渡し役を担う。

6. 人材育成、セミナー、講習会に関する事業

1) 包装学校

わが国包装機械メーカーの技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象として、昭和49年度から包装学校を開講しており、本年度は第50期という50周年を迎えることとなった。修了者においては昨年度の第49期まで5,170名を数え、包装機械業界はもとよりユーザー業界からも包装機械に関する唯一の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

本年度は2023年6月から2024年3月までの10カ月間、第50期包装学校を開講して、包装機械業界ならびにユーザー業界包装担当者の人材育成・高度化に努める。

コロナ渦において座学講座をオンデマンドビデオ配信システムへ移行したが、本来の対面講座の要望も高く、講座を順次対面に移行しより受講生間のコミュニケーションを取れる形にしていく。一方で、自由な時間に繰り返し、柔軟に受講できるオンデマンド講座の要望もあることから、2つの方式を併設するハイブリッド型カリキュラムとする。

各課程の受講料(税別)は次の通りである。

NO	課程名	会 員	非会員
1	包装機械設計技術専門課程	¥340,000	¥390,000
2	パッケージングエンジニア専門課程	¥320,000	¥370,000
3	デジタル制御技術専門課程	¥110,000	¥160,000

注意) デジタル制御技術専門課程は、PLCメカトロ制御講座の1講座のみ開催

2) 青年部会

青年部会(部会長:戸谷 隆一 氏 トタニ技研工業株式会社 社長)は、次代の経営幹部の育成ならびに会員相互の親睦を図るため、当会工業会の定款に定める目的に従い以下の部会活動を推進する。

※国内工場見学会

月 日:2023年 4月 5日(水)

会 場:THK株式会社 山形工場(山形県東根市)

※2023年度定時総会

月 日:2023年 4月 5日(水)

会 場:山形国際ホテル(山形県山形市)

内 容:2022年度事業報告書(案)の承認について、2023年度役員体制(案)の承認について、2023年度事業計画書(案)の承認について、青年部会規定(改定案)の承認について

※第84回幹事会

月 日：2023年 4月26日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：2023年度事業計画（案）について

※夏季セミナー

月 日：2023年 9月13日（水）～14日（木）

会 場：ホテルマロウド軽井沢（長野県北佐久郡）

※海外視察会

月 日：2023年11月（予定）

会 場：（未定）

※2024年新年情報交換会

月 日：2024年 1月 9日（火）

会 場：（未定）

※会員名簿PDF版の運用

※上記の他、講演会・勉強会等適宜計画予定

※その他、一般社団法人日本包装機械工業会の定款に定める目的に従って活動を促進するとともに、次代の経営幹部の育成並びに会員相互の親睦を図る。

3) 各種セミナー・講習会

(1) 厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会開催

日本包装機械工業会は職業能力開発総合大学校、（一社）安全技術普及会、職業能力開発総合大学校と共催で講習会を継続開催する。

開催場所・・・オンライン

① 機械の安全化と国際安全規格（2日）

2023年12月 7日（木）、 8日（金）

② 機械安全におけるリスク低減（2日）

2024年 1月11日（木）、12日（金）

③ リスクアセスメントの実践と妥当性確認（2日）

2024年 2月 8日（木）、 9日（金）

④ 電気と制御システムの安全設計編（2日）

2024年 3月 7日（木）、 8日（金）

上記①～④修了者に「修了証明書」を発行する。

(2) IEC 60204-1/JIS B 9960-1対応

「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会開催

高度ポリテクセンターと共催で講習会を開催する。

関東会場 高度ポリテクセンター（定員：15名）

2023年11月15日（水）、16日（木）

関西会場 ポリテクセンター関西（定員：15名）

2024年 2月14日（水）、15日（木）

新潟会場 ポリテクセンター新潟（定員：15名）

2024年 2月20日（火）、21日（水）

7. 国の施策に関する事業

1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

2017年7月にスタートした「中小企業等経営強化法」の証明書発行団体として、2017年8月から証明書の発行を開始し、ユーザー業界への設備投資促進に努め、累計9,516通の証明書を発行した。本年度も引き続き証明書の発行を行い、わが国包装機械・関連機器の販売促進に努める。

2) 国税関連の制度改正に伴う対応

猶予期間中となっている電子帳簿保存法が2024年1月から義務化されることに伴い、対応を進める。また10月よりインボイス制度実施についても対応を進める

8. その他関連事業

1) 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しを促進すると共に包装機械会館の運営・保守保全に努める。

2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業

株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、事業承継サポートプログラムの利用促進、ならびに出資業務・アドバイザー業務などの会員向けサービスの利用促進に努める。また株式会社包装システムと協調し、PL保険・包装機械総合保険への団体加入の促進に努める。

3) 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努める。

4) 関連産業との連携

(一社)日本食品包装協会、(一社)日本粉体工業技術協会をはじめ、包装関連産業、食品関連産業、製パン・製菓産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業などの産業連携や、包括連携協定を締結している東京工科大学工学部との連携、ならびにCLOMA等の官民連携も推進し、包装機械業界の発展に努める。